

第14回テーマ：化学放射線療法を受ける患者の看護 ③食道がん

- 開催日程 : 2012年 3月 17日(土)  
開催場所 : 東京 浜離宮朝日ホール  
募集方法 : 日本放射線腫瘍学会ホームページから受け付け、応募が募集人員に達した時点で締め切る。  
日本放射線腫瘍学会ホームページアドレス : <http://www.jastro.jp/>  
募集人数 : 200名  
参加費 : 5,000円(日本放射線腫瘍学会もしくは日本がん看護学会会員)  
8,000円(非会員)

### はじめに

がん医療の中で放射線治療は根治から症状緩和まで、多くの患者にとって重要な役割を担っている。しかし、放射線治療を受ける患者が増加する中で、「放射線」に対する根強い誤解や知識不足による不安を抱いている患者も多い。このような不安を和らげるために、看護師が事前にわかりやすい言葉で生活に即した説明を行うことは有用である。これは患者のセルフケアを促進することにもつながる。また、放射線治療を受ける患者は他のがん治療と同様に種々の有害事象を経験する。これらの有害事象の多くは適切なアセスメントと効果的なケアの提供で症状を予防、もしくは低減させることが可能となる。一方、放射線治療には放射線治療医や診療放射線技師など多くの医療従事者が関わることも特徴のひとつである。これらの医療従事者が、患者を中心とした円滑なコミュニケーションを図るために、看護師は重要な役割を担っている。

このようなことを看護師が実行するためには知識が必要であるが、その知識は専門的で広範囲に及び、臨床では習得する機会が少ない現状である。そこで、患者が安心して適切な放射線治療を受けられるように、看護師への放射線治療の知識の普及を目的として本セミナーを継続して開催している。

### 第14回セミナー開催にあたって

第1回及び第2回はほとんどの患者が経験する「皮膚炎」を、第3回からは参加者アンケートで要望の高かった「口腔・咽頭粘膜炎」「骨転移」「子宮頸がん」「前立腺がん」「乳がん」「胸部」をテーマとして開催し、いずれも参加者から高い評価を頂いた。

第11回からの「化学放射線治療」も参加者アンケートの上位項目から決定した。化学放射線療法は、その効果の面から適応は増加傾向にある。一方で単独治療に比べて強い有害事象が出現することも多く、看護の果す役割は大きい。今回はシリーズ第3弾として、「食道がん」をテーマとする。食道がんは手術、内視鏡手術、化学放射線療法など治療の選択肢が多いことも特徴である。本セミナーでは、患者への適切なアセスメントならびに効果的な看護実践のために必要な食道がんへの化学放射線療法についての知識と情報を提供する。

### セミナーの目的

がん放射線治療に関する看護の質向上を図るために、適切なアセスメントならびに効果的な看護実践に必要な知識を提供する。

### 第14回セミナーの到達目標

- 1) 食道がんへの化学放射線療法の特徴、治療中の栄養管理を含む基礎知識を理解する。
- 2) 食道がんの基礎知識および食道がんへの放射線治療を受ける患者が抱える問題を理解し、適切なアセスメントならびに効果的・効率的な看護実践を結び付けて考えることが出来る。

### セミナーの構成

- 1) 食道がんの病態や治療法といった基礎知識、看護ケアについて概説する。最後のセッションでは参加者に提示してもらった症例や質問を講師や他の参加者を含めてディスカッションする。
- 2) 最後のセッションの実施にあたり「食道がんへの化学放射線療法」の看護ケアに苦慮した症例と質問等について、当日会場にて配布するアンケートを記入後に回収する。

## カリキュラム

時間	内容	講師・時間
	Information	
10:15~10:20	開会の辞	5分
10:20~11:20	<b>1. とても役立つ食道がんの基礎知識</b> 食道がんの特徴や各種治療法を概説する。	九州がんセンター副院長 藤 也寸志講師 60分
11:20~11:25	質疑応答	5分
11:25~12:25	<b>2. 食道がんへの化学放射線療法</b> 食道がんの化学放射線療法の特徴および実際の治療について概説する。	山形大学医学部 放射線腫瘍学講座教授 根本建二講師 60分
12:25~13:30	昼食	65分
13:30~14:40	<b>3. 食道がんへの化学放射線療法を受ける患者の栄養</b> 食道がんでは化学放射線療法を受け、粘膜炎症状等によって摂食が低下した患者に対するチームで行う栄養管理について解説する。	東邦大学医療センター大森病院 栄養治療センター部長 鷺澤尚宏講師 70分
14:40~15:50	<b>4. 食道がんへの化学放射線療法の看護ケア</b> 食道がんでは放射線治療を受ける患者の事例を通して、放射線治療計画から有害事象を予測し、患者の心理・社会的側面を含めた問題の看護ケアを解説する。	兵庫県立がんセンター がん看護専門看護師 橋口 周子講師 70分
15:50~16:00	休憩	10分
16:00~16:50	<b>ディスカッション・質疑応答</b> 患者の看護問題とその解決へのアプローチについて、参加者から回収した症例と質問を中心に講師と受講者間でディスカッションする。	多摩総合医療センター 喜多みどり 横浜医療センター 立石久留美 国立がん研究センター中央 角美奈子 50分
16:50~16:55	閉会の辞	

予告

日程 2012年9月 22日 開催地 東京 テーマ 放射線治療の基本

\*次回以降のテーマは「放射線治療の基本：わかっているかもしれない知識の再確認（仮題）」を予定しています。詳細は、会場アンケートから検討しますので、ご要望をお寄せください。